

令和8年度 奈良県・市町村長サミット

ロケ誘致が地域にもたらす効果と 地域の受入体制について

特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション

事務局長 関根 留理子



FCの基礎と役割



フィルムコミッションの歴史

1969年 米国コロラド州政府「コロラド・フィルムコミッション」を設立

1975年



= 国際フィルムコミッショナーズ協会

(Association of Film Commissioners International) が設立
以後、世界各国にフィルムコミッションが誕生！

2000年 「フィルム・コミッション設立研究会」発足

大阪ロケーション・サービス協議会（日本初）

大阪、神戸
北九州、横浜

2001年 「全国フィルム・コミッション連絡協議会」

日本にFCを設立！

2004年 **AFCNet** (アジア・フィルムコミッションネットワーク) 発足

Asian Film Commissions Network

2009年 「全国フィルム・コミッション連絡協議会」

業務移行

会員数108
国のFCなし



「特定非営利活動法人ジャパン・フィルムコミッション」設立!!



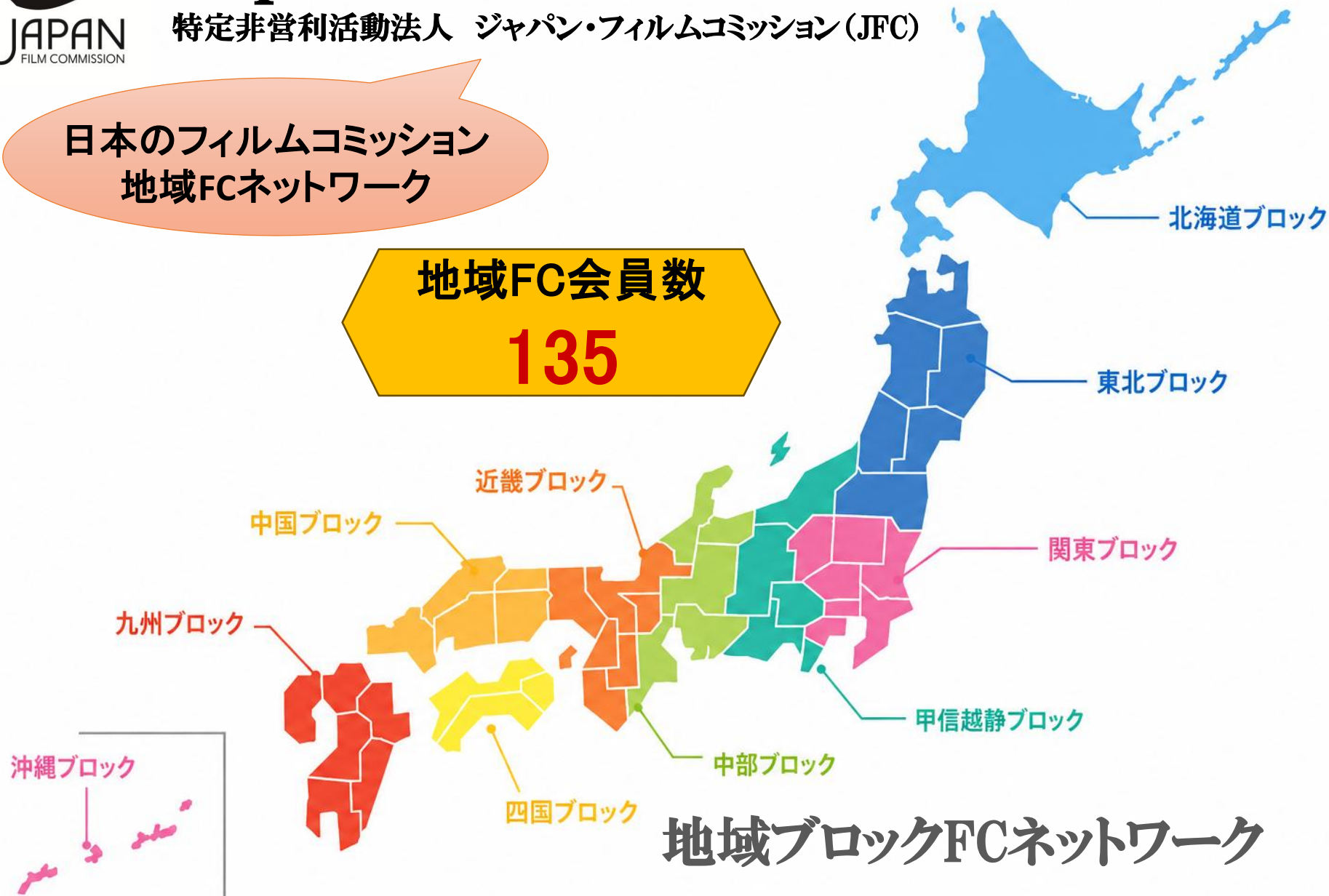
Japan Film Commission

特定非営利活動法人 ジャパン・フィルムコミッション (JFC)

日本のフィルムコミッション
地域FCネットワーク

地域FC会員数

135



地域ブロックFCネットワーク

フィルムコミッション(FC)とは

フィルムコミッション(FC)とは、映画、ドラマ、テレビ番組、配信、アニメ、CM、PVといった映像作品の地域ロケーション撮影・制作が円滑に行われるための支援を行う団体で、つぎの三要件を満たす公的機関のこと。

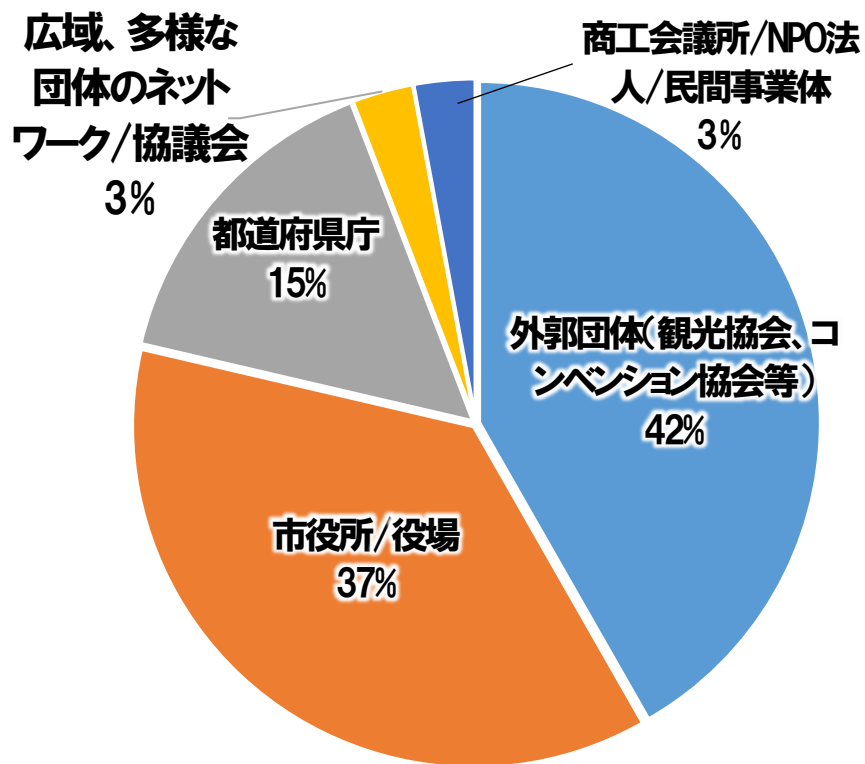
FCは、撮影(制作)支援を行うことによって、地域活性に繋げる目的で活動している。

FCの3要件＝世界共通ルール

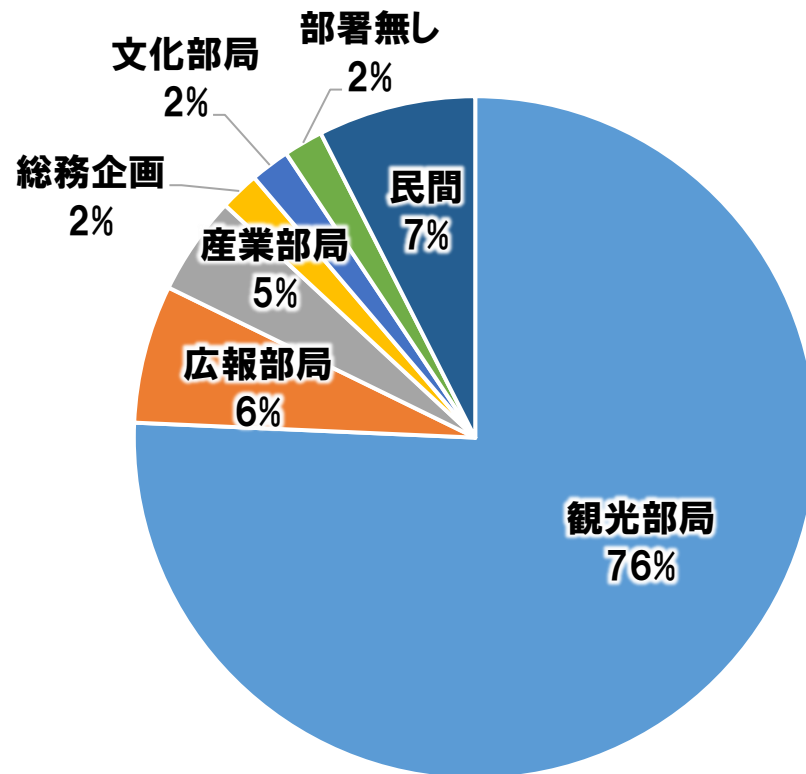
- * 非営利公的機関であること
制作者との対等な立場を担保するため
公益性を担保し、地域の合意形成を図るため
- * ワンストップサービスを提供すること
地域における一元的な相談窓口
許認可権者との協力体制がある
地域の民間施設等への仲介ができる体制
- * 作品の内容を選ばない
検閲を行わない(表現の自由を尊重する)
ただし、地域に不利益な場合は支援を行わない

<JFC会員の組織体制>

2024年度JFC調査



FCの所属団体(母体組織)



FCの所属部署

フィルムコミッションは、人に団体の場合が多く、ほとんどは、県庁や市役所の自治体、または観光連盟や観光協会、コンベンション協会などの第三セクターで実施する一事業名である。

フィルムコミッションの活動内容

1. 制作者への誘致・プロモーション活動
2. 制作者へのロケーション撮影支援
3. 支援した作品を活用した地域活性化活動

- ・地域住民や映像業界とのコラボレーション: 映画祭、上映会
- ・観光政策としての誘客施策: コンテンツ(ロケ)ツーリズム
- ・文化資産の保全・活用: 施設改修・保全活動
- ・特産品等の物販促進: プロダクト・プレイスメント
- ・地域教育機関との連携: 映像制作ワークショップ

4. 地域への啓蒙・PR活動
5. 情報の蓄積、スタッフの育成
6. 近隣FCとの連携



地域へ還元!

フィルムコミッションのロケ撮影支援

撮影誘致⇒ロケ地の提案



制作者から聞いたイメージや、台本、原作などに合うロケ地を提案。
撮影に関する必要な情報(撮影の条件、周辺の宿泊施設、飲食店、工務店)なども一緒に提供する。



許認可のサポート／ロケ地との調整



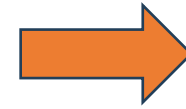
＜情報提供：神戸フィルムオフィス＞

映画 『デスノート Light up the NEW world 』

- ・市内20ヶ所で道路規制をして数日、通行止めで撮影
- ・エキストラ参加者約2000人
(作品全体での延べ数)



フィルムコミッションの効果は？



地域活性 活動

1. 滞在費用・機材レンタル・ロケセット等

⇒【直接経済効果】

2. マスメディア等への露出 ⇒【情報発信】

3. 観光客等の増加 ⇒【間接経済効果】

4. 撮影隊サービス業 ⇒【雇用や新事業の創出】

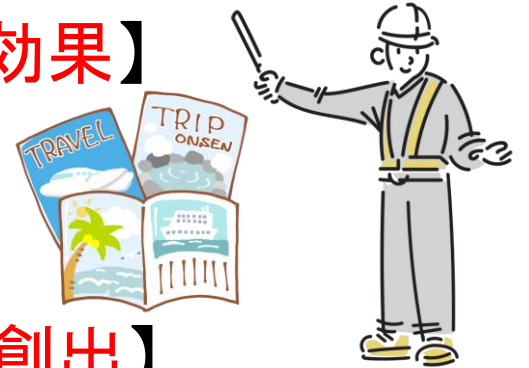
5. 創作活動の活発化・地域文化の見直し ⇒【文化振興】

6. 新しい観光・地域資源の発掘・発信

⇒【新たな魅力の発掘】

7. 地域への愛着心、チームビルディング

⇒【地域への誇り】【コミュニティ形成】





FCの現状と作品の活用について



7. 日本のフィルムコミッションの現状

***2024年**
国内興行収入10億円超 邦画31作

	公開月	タイトル	興行収入	配給	支援団体
1	4	名探偵コナン 100万ドルの五稜星(みちしるべ)	158	東宝	北海道ロケーション連絡室、はこだてFC、函館市、七飯町、木古内町、函館国際観光CV、北海道庁、札幌市、稚内市、北斗市
2	2	劇場版ハイキュー！！ ゴミ捨て場の決戦	116.4	東宝	
3	7	キングダム 大將軍の帰還	80.3	東宝/SPE	信州FCネットワーク、諏訪園FC、鋸南町、栃木県FC、富士宮市根原区、富士宮咲花区、渋谷伊香保FC、東御市、信州とうみ観光協会
4	23/ 12月	劇場版 SPY×FAMILY CODE: White	63.2	東宝	
5	8	ラストマイル	59.6	東宝	せんだい・宮城FC、ぐんまFC、青梅市西和LS、しなロケ、高崎FC、足立区、狛江LS
6	1	機動戦士ガンダムSEED FREEDOM	53.8	バンダイナムコ フィルムワークス/松竹	
7	3	変な家	50.7	東宝	浜松FC、小山町FC、秩父地域おもてなし観光公社、日野市映像支援隊、映画のまち調布
8	23/ 12月	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	45.4	松竹	いばらきFC、行方市FC、千葉県FC、千葉茂原LS、鹿沼市、常陸太田市、桐生市、わたらせFC、阿見町、栃木県FC
9	3	映画ドラえもん のび太の地球交響楽	43.1	東宝	
10	8	僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ユアネクスト	36	東宝	
11	1	ゴールデンカムイ	29.9	東宝	札幌FC、いばらきFC、ながのFC、信州FCネットワーク、北海道ロケーション連絡室、平取町、むかわ町、日高町、福島市、館林市、新潟県津南町、信州たてしなFC、白樺高原FC、山形県、北海道大樹町観光協会
12	8	映画クレヨンしんちゃん オラたちの恐竜日記	26.9	東宝	
13	2	「鬼滅の刃」絆の奇跡、そして柱稽古へ	23.1	東宝/アニプレックス	
14	6	ルックバック	20.4	エイベックス・ ピクチャーズ	
15	9	Mrs. GREEN APPLE／The White Lounge in CINEMA	19	松竹ODS事業室	
16	10	室井慎次 敗れざる者	18.9	東宝	かくのだてFC、柏市、新潟県FC協議会、あきたロケ支援ネットワーク、だいせん大曲FC、北秋田市観光課、長岡FC、十日町市ロケ応援団、柏市、魚沼市観光協会
17	4	劇場版ブルーロック -EPISODE 風-	18.1	バンダイナムコ フィルムワークス	

	公開月	タイトル	興行収入	配給	支援団体
18	9	スオミの話をしよう	17.7	東宝	東京LB、映画のまち調布
19	11	室井慎次 生き続ける者	17	東宝	かくのだてFC、柏市、新潟県FC協議会、あきたロケ支援ネットワーク、 だいせん大曲FC、北秋田市観光課、長岡FC、十日町市 文化観光協議会、男鹿市、柏市、魚沼市観光協会、羽生市LS
20	5	帰ってきた あぶない刑事	16.4	東映	市原市、神戸FO、関西LS、富士LS、横浜FC、市原市、川崎区、 木更津市、川崎市役所、ハマロケ、麴町ロケーション
21	6	ディア・ファミリー	14.7	東宝	なごやLN、LNIにしお、伊勢志摩FC、愛知県FC協議会、春日井市 観光CV協会、とよはしFC、豊川市観光協会、長野県大町市
22	11	劇場版「進撃の巨人」完結編 THE LAST ATTACK	14.5	ポニーキャニオン	
23	5	劇場版『ウマ娘 プリティーダービー 新時代の扉』	14.1	東宝	
24	23/ 12月	PERFECT DAYS	13.3	ビターズ・エンド	東京LB、台東区、墨田区、江東区
25	9	わんだふるぷりきゅあ！ざ・むーびー！ドキドキ・ゲームの世界で大冒険！	12.4	東映	
26	7	もしも徳川家康が総理大臣になったら	12	東宝	いばらきFC、ぐんまFC、静岡市FC、岡崎FC、高知FC、静岡県FC連絡 協議会、栃木県まちづくり協議会、栃木県FC、さいたま市LS、 さいたま観光国際協会
27	3	四月になれば彼女は	11.9	東宝	いばらきFC、FC富士、横浜FC、
28	7	あのコはだあれ？	11.6	松竹	銚子FC、巖根3丁目自治会、岡山県育英会
29	4	陰陽師0	11	WB	みちのくFC、滋賀LO、奈良県、裾野市まちづくり推進協議会、 須山振興会
30	6	九十歳。何がめでたい	10.4	松竹	
31	9	劇場版「オーバーロード」聖王国編	10.3	KADOKAWA	

参照：日本映画製作者連携ホームページ

国内興行収入10億以上の支援内訳

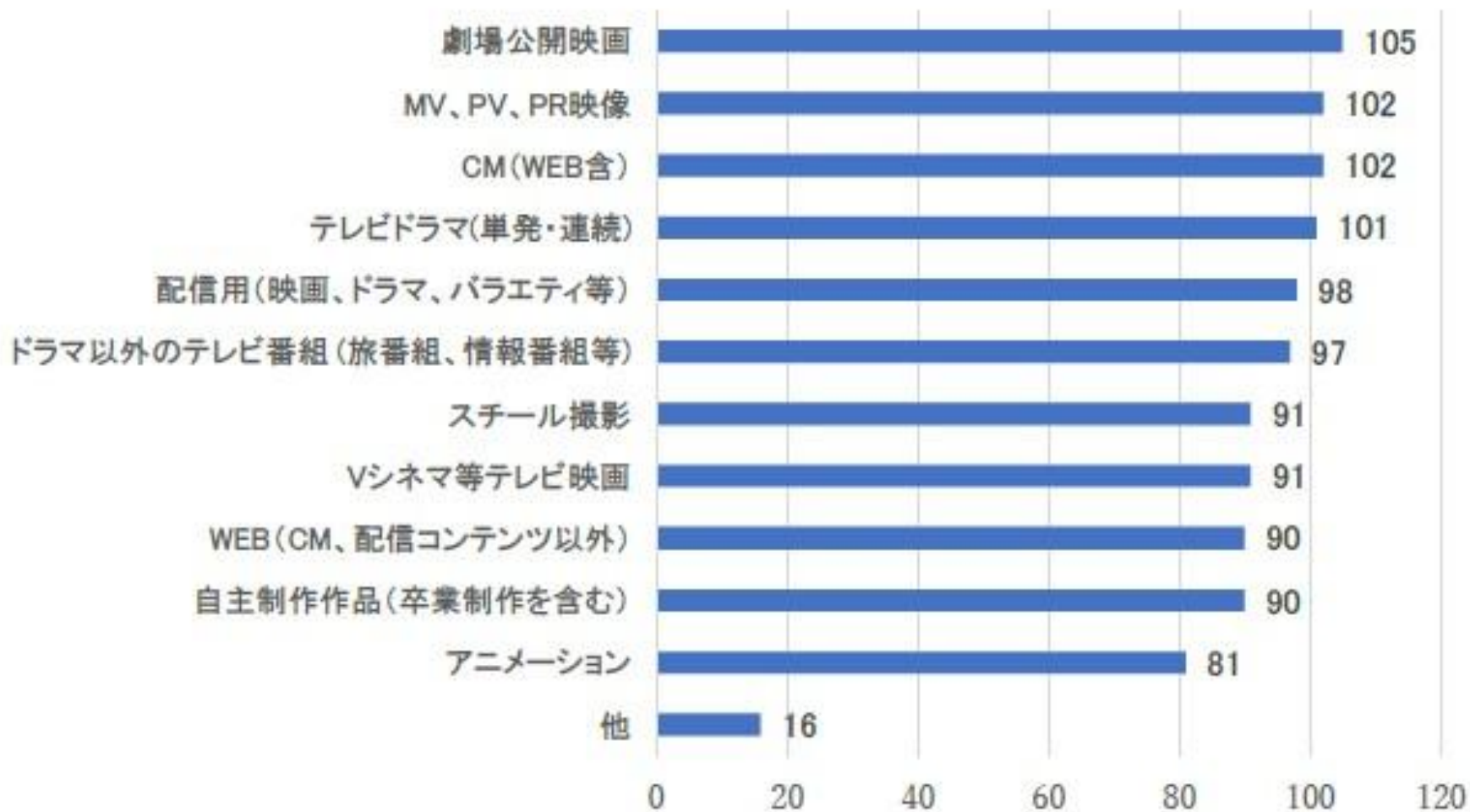
	作品数	アニメ	実写	実写支援数	実写支援率		作品数	アニメ	実写	実写支援数	実写支援率
2016	43	11	32	31	96.9%	2017	38	10	28	28	100.0%
2018	31	8	23	22	95.7%	2019	40	15	25	25	100.0%
2020	32	7	14	14	100.0%	2021	33	12	21	19	90.5%
2022	26	14	12	12	100.0%	2023	34	12	22	21	95.5%
2024	31	14	17	15	88.2%						

※2021年実写のうち2作品は音楽ライブと舞台
※2023年実写のうち1作品はスポーツドキュメンタリー
※2024年実写のうち1作品は音楽ライブ

＜JFC会員の作品支援実績＞

2024年度JFC調査

支援作品のジャンル(複数回答)



映画制作費と興行収入

*出典: 日本映画製作者連盟

<制作費>

邦画総製作費……約200～300億円

年間制作本数……約600本（2025年は694本）

邦画平均製作費……約5000万円

*総合1位『ファイナルファンタジー』……167億円

*実写2位『20世紀少年』(3章総計)……60億円

*邦画アニメ製作費平均3～5億円

第1位『かぐや姫の物語』51億円

<興行収入>

歴代1位『劇場版 鬼滅の刃 無限列車編』(2020)407.5億円

実写1位『国宝』(2025)200億越え（製作費12億円）

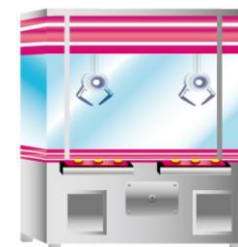
2024年 日本の映画業界

動員数: 1億4,444万1,000人(前年比92.9%)

興行収入: 2,069億8,300万円(前年比-6.5%)

うち邦画興収: 1,558億円(前年比+5.1%)

*2025年 興行収入2744億円(邦画: 2075億円)歴代1位



映画の市場規模
約**2070億円**

ハリウッド映画記録

*出典:IMDb

『アベンジャーズ・エンドゲーム』(2019)

総製作費・・・3億5600万ドル(約396億円) *世界第2位

世界興行収入・・・29億2370万ドル(約3216億円) *世界第2位

* ロケ地はスコットランド等

* 世界1位は『アバター』(2009)



『トップガン マーベリック』(2022)

世界興行収入・・・約15億ドル(約2025億円)

日本興行収入・・・約137億円

総製作費・・・1.7億ドル(約229.5億円)



邦画輸出実績

*出典:日本映画製作者連盟

2013年・・・6517万ドル(約68.4億円)

2019年・・・3億2778万ドル(約360億円)

2024年・・・5億4000万ドル(約800億円)

VOD(ビデオオンデマンド)/ストリーミングの発展

＜世界の動画配信市場規模＞ ※出典: Omdia、Statista「Digital Market Outlook」

2021年: 約9兆9,310億円(前年比24.5%増)

＜国内動画配信市場規模＞ ※(一財)デジタルコンテンツ協会調べ

2019年: 約2,950億円(推定)

2022年: 約4,870億円(推定)

2023年: 約5,250億円(推定)

2024年: 約5,500億円～5,700億円(推定)

2028年: 約7,371億円(予想)

＜主な国内配信会社＞15社

Amazon Prime Video、Netflix、Hulu、Disney+ 等世界配信事業者含む

～配信普及によるFCへの影響～

- ①作品数の増加 ②制作費の増加 ③配信期間が長い
- ④世界へ配信 ⑤PRの変化

バーチャルプロダクションへの協力



出典: Sony Marketing Inc. HP

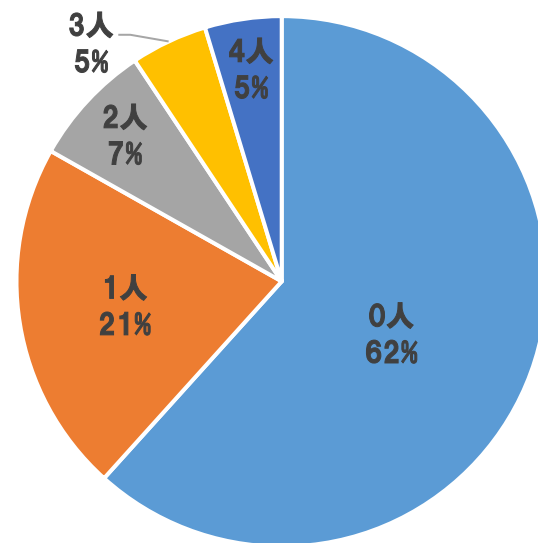
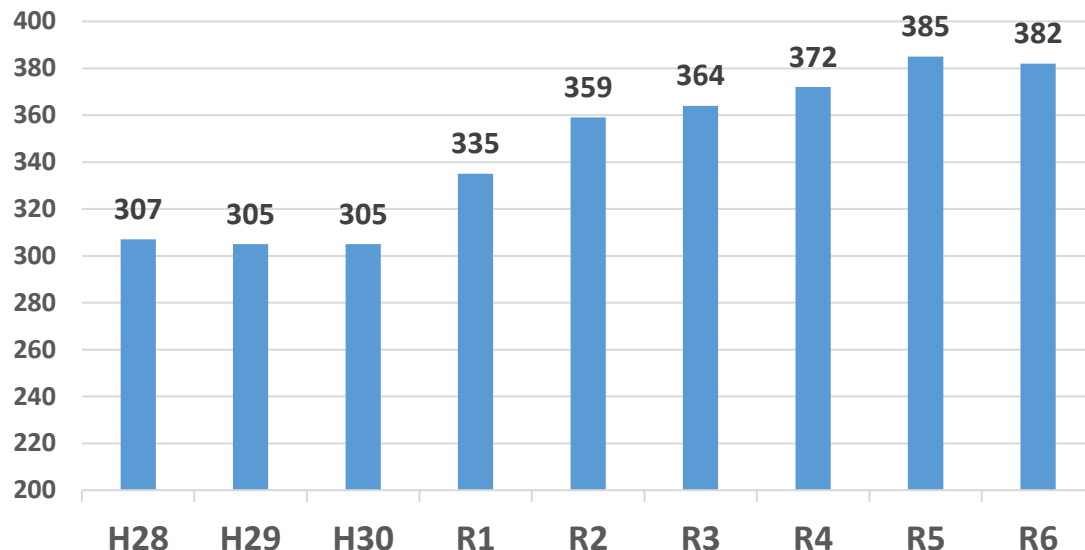
コロナ禍において、急速に進歩し導入が進んだバーチャルプロダクションでは、ロケ撮影と相反すると思われるが、①状態のいいロケ地が使われる、②少人数での撮影、交通や住人への配慮が可能、③撮影が不可の場合でも活用が可能など、利点も多い。

出典: NHK(日本放送協会)HP



<日本のFCの支援体制>

全国FC数の推移 *AFCI:会員数 約360団体



《FC専任スタッフ数》*JFC調べ

2016年・・・0.60人(64名／104団体)
 2017年・・・0.59人(59名／99団体)
 2018年・・・0.90人(75名／89団体)* 0人の団体60%
 2019年・・・0.75人(78名／104団体)* 0人の団体66団体
 2020年・・・0.78人(82名／104団体)* 0人の団体63団体
 2022年・・・0.53人(57名／107団体)* 0人の団体76団体
 2023年・・・0.56人(60名／108団体)* 0人の団体66団体(62%)

2024年FC専任スタッフ数

制作者にとってのFCの役割

ロケ撮影には欠かせない存在

1. 現地の情報提供
2. 現地調査
3. 許認可の調整
4. 撮影支援
5. 地元の人材、ネットワークの紹介
6. 制作費の軽減のための支援
7. プロモーション協力

映像業界の取り組み

「日本映画制作適正化機構」の設立による業界の働き方改革

審査機能とは

撮影時間や休憩時間のルール、安全やハラスメントに関する体制整備が行われている作品に対して審査し、認証を与えます。



スタッフセンター機能とは

スタッフの人材の処遇の向上や人材育成などを担います。また、ハラスメントなどの相談窓口を設置することを予定しております。



適正な環境での
映画制作

スタッフと
プロダクション間の
契約を管理

ハラスメント対策

日本と地方への経済効果 – 国の取り組みの成果 –

内閣府「大型映像作品ロケーション誘致の効果検証調査」

令和元年度～令和4年度の4年間（実証調査）



調査対象

6 作品（4年間）



支援額合計
（調査協力金）

4 億 3,400 万円



国内制作費
（国内消費額）

117 億 7,300 万円



経済波及効果
（観光を除く）

193 億 6,300 万円

主な効果



地方への
経済波及



制作雇用の
創出



国際水準の
技術移転



ロケセット等の
地域レガシー化

経済産業省 海外ロケ誘致インセンティブ事業

令和5年～令和7年の3年間の実績



採択実績

18 作品

1年目：1本 2年目：9本 3年目：8本



補助金交付額

約 26.53 億円



国内消費額
（直接効果）

約 73.48 億円



経済波及効果
（観光を除く）

約 124.9 億円
（73.48億円 × 1.7）

投資対効果（補助金1円あたり）

国内消費

約 2.8 円

経済波及効果

約 4.7 円

地域への波及効果（事例：唐人街探偵 TOKYO MISSION）

地域	直接効果	間接波及効果
東京都	15.47億円	46.4億円
愛知県	3.38億円	10.15億円
栃木県	2.90億円	8.7億円
兵庫県	2.42億円	7.25億円



その他の効果

- ・足利市に大型セット建設
- ・撮影後もロケ誘致資産として活用

作品の活用事例

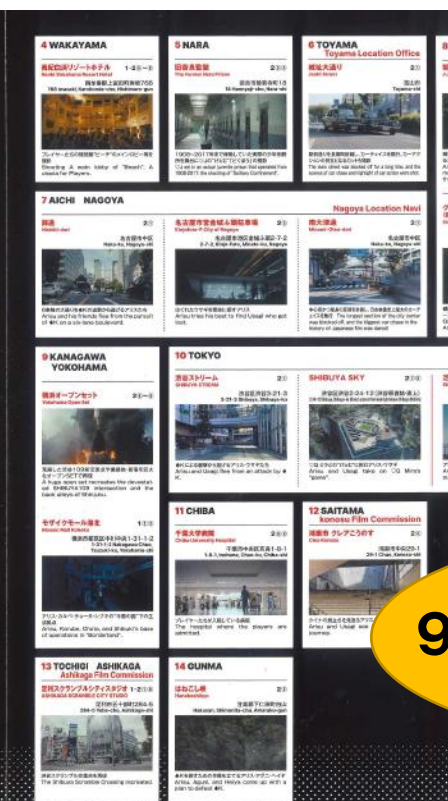


パネル展の開催





ロケ地マップの作成(地域連携)

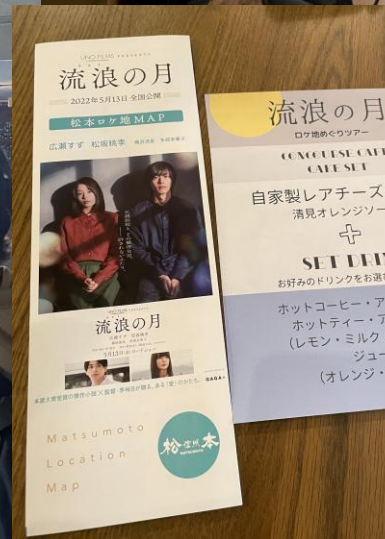


9FCとJFCで連携して作成

ロケ地マップフェア (ツーリズムEXPO内) の開催(JFC)



ロケ地巡りツアーの開催 (ツアー商品化・旅行会社等との連携)



地域FC担当者がツアーガイドを担当。実際の撮影に出てきたコーヒーの試飲やロケ地のカフェやレストランでの食事なども楽しむ

広島フィルム・コミッション支援映画

『ドライブ・マイ・カー』(監督: 濱口竜介) 8月20日(金)全国公開!!

真っ赤なサープ900が走り抜けた

広島のロケ地を巡ろう!!

ロケ地情報は右のQRコードを読み取ってください



第74回カンヌ国際映画祭コンペティション部門正式出品

原作 村上春樹 × 主演 西島秀俊 × 監督 濱口竜介

その先にあるものを、僕はまだ知らない。



西島秀俊
三浦透子 露島れいか / 岡田将生
原作: 村上春樹『ドライブ・マイ・カー』
(角川文庫刊) 文庫下巻 2019年10月 / 文庫上巻 2019年10月

監督: 濱口竜介 脚本: 濱口竜介 大江崇光
原案: 村上春樹 監製: 村上春樹 製作: 村上春樹 配給: 角川映画
©2021 Drive My Car Committee. All rights reserved.

ドライブ・マイ・カー

© 2021『ドライブ・マイ・カー』製作委員会

発行: 広島フィルム・コミッション (公財)広島観光コンベンションビューロー魅力創造部内)

デジタルロケ地
マップの作成

ロケ地になった
ホテルでの写真展



スタンプラリーの開催



ロケ地とのコラボ

様々なコラボ企画



ホテルでのコラボカクテルの提供



ホテルでのコラボスイーツの提供



ロケ地での衣装とパネル展



お土産とのコラボ

地域の企業や業者と連携したロケ弁やケータリングの提供

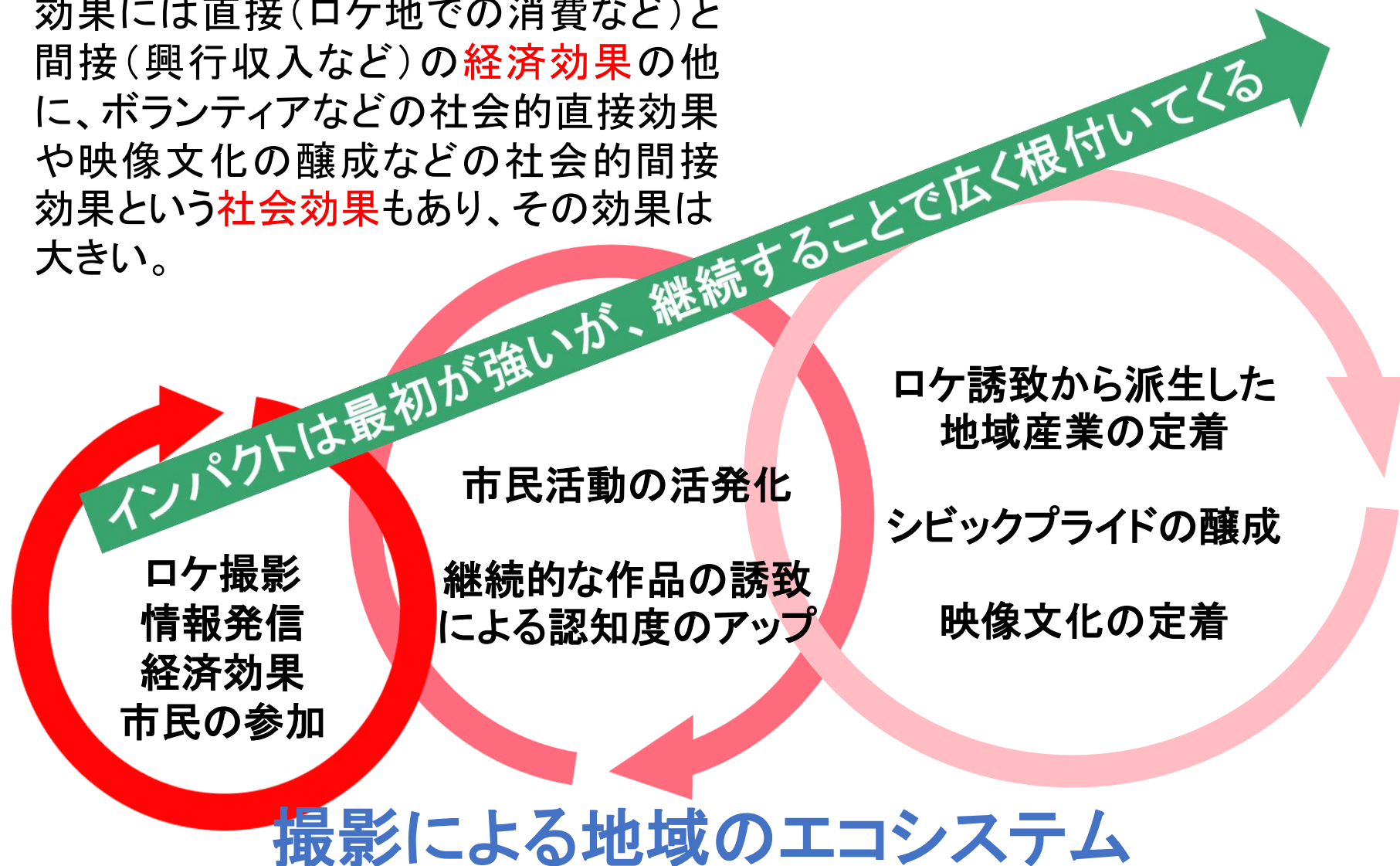


イベントの開催 (音楽イベント・トークショーなど)



地域におけるFC活動の効果と継続

効果には直接（ロケ地での消費など）と間接（興行収入など）の**経済効果**の他に、ボランティアなどの社会的直接効果や映像文化の醸成などの社会的間接効果という**社会効果**もあり、その効果は大きい。



ジャパン・フィルムコミッション(JFC)とは

<目的>

全国の撮影支援ネットワークを強化し、国内外の映画・映像作品の製作支援をはじめ、フィルムコミッション(以下:FC)や映像関係者の人材育成支援、映像産業の振興、映像文化の普及、地域資源の評価などの資する事業を行い、国や地方公共団体、FC、映像関係企業や団体、職能者組織などと協力・連携し、日本の撮影環境の発展に寄与することを目的とする団体です。

<設立> 2009年4月14日

<会員数> 160団体・個人(正会員 143 / 賛助会員19)(2025/1/20現在)

<理事構成>

地域ブロック理事10名／専門家理事7名／監事1名

<世界ネットワークの連携>

AFCI(国際フィルムコミッショナーズ協会)会員

AFCNet(アジア・フィルムコミッション・ネットワーク)会員

*副理事長就任 2024年～



ジャパン・フィルムコミッションの活動例



認定研修(新人研修)、スキルアップ研修等の人材育成



全国10カ所の地域ブロック研修(受託事業)

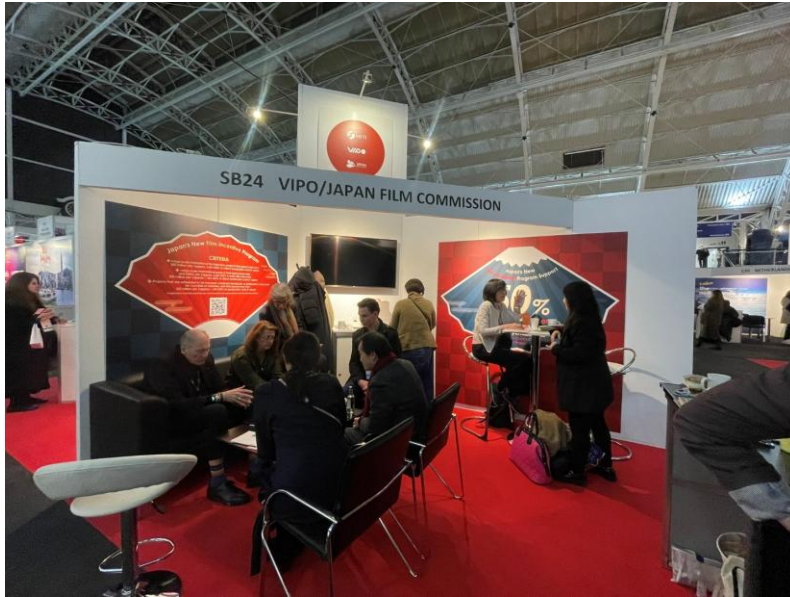


JFCロケ地フェア(制作者とFCのマッチングイベント)



ツーリズムEXPOジャパンでのロケ地マップフェア

ジャパン・フィルムコミッションの活動例



国際マーケット等への参加・ロケ誘致活動(受託事業含む)



国際イベントでのセミナー開催(受託事業)



JFCアワードの実施等、FCの地位向上や啓蒙活動



「JFCアワード 経済産業大臣賞」(経産省共催)

ジャパン・フィルムコミッションの活動例



ASEANにおける日本映画の上映とイベント(文化庁)



国際イベント参加、国際ネットワークとの連携



JL-DBの利用促進調査等業務(受託事業)

その他

- ・国内外におけるFC活動等調査
 - ・日本全体にかかる効果/実態等調査業務
 - ・企画提案ピッチプロジェクト等の実施
 - ・関係団体、業界団体との連携
 - ・ガイドラインや経済効果測定などの作成協力
 - ・国内外スタジオ等の調査
 - ・被災地等の調査、サポート業務
- など

ご清聴ありがとうございました